

学習指導案

金沢大学附属中学校 鏡千佳子

1 題材の目標

- (1) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な条件に合った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。
- (2) 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- (3) 音色や速度、強弱などの違いによって生み出される雰囲気や表情の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作や鑑賞の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。

2 本題材で扱う学習指導要領の内容

第2学年及び第3学年 A 表現 (3) 創作

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴

ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。

第2学年及び第3学年 B 鑑賞 (1) 鑑賞

ア 鑑賞に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(イ) 生活や社会における音楽の意味や役割

イ 次の(ア)から(ウ)について理解すること。

(イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり

〔共通事項〕(1)

(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「音色」「速度」「強弱」)

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴を理解している。(創作)</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。(創作)</p> <p>知 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。(鑑賞)</p>	<p>思 音色、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(創作)</p> <p>思 音色、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(鑑賞)</p>	<p>態 音色、速度、強弱などの違いによる音楽が生み出す雰囲気や表情の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(創作・鑑賞)</p>

4 指導と評価の計画 (総時数5時間)

次	時	学習内容・ねらい (■) 主な活動等 (丸数字)	評価規準 (○) 観点【 】
1	1	<p>■どんな絵を見て作曲したのか、音楽の特徴から考える</p> <p>①10枚の絵を基につくられた曲の中から3曲を聴き、それぞれの曲の特徴をつかむ。また、どんな絵を見てつくられたのか想像する。</p> <p>②3曲の中から気に入った曲を1曲選び、特徴をまとめる。</p>	<p>○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。【知】</p> <p>○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【態】(1~2時)</p>

	2	<p>■ムソルグスキーの気持ちの変化を感じ取る</p> <p>①4つのプロムナードを聴き比べ、作曲者の心情の変化を感じ取る。</p> <p>②ムソルグスキーがどのような気持ちで友達の展覧会を見て歩き、作曲したのかを考えながら、前半部分を通して聴く。</p>	<p>○組曲「展覧会の絵」の音色、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【思】</p>
2	3	<p>■紙芝居に合う音楽をつくる</p> <p>①前時で学習した内容を踏まえ、タブレット端末で創作アプリを使って、簡単な旋律をつくり、音色やリズム、速度、調を変化させ、雰囲気を変えられることを体感させる。</p> <p>②技術・家庭科（家庭分野）で作成した紙芝居に合う短い旋律をつくる。</p>	<p>○音素材の特徴及び音の重なり方などの構成上の特徴について理解している。【知】</p> <p>○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。【態】（3～5時）</p>
	4	<p>■紙芝居に合う音楽をつくる</p> <p>①前時に作成した旋律と紙芝居を合わせ、紙芝居のイメージに合うよう工夫する。</p> <p>②グループでお互いの作品を鑑賞し合う。</p> <p>③よりよい音楽になるよう最終調整する。</p>	<p>○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。【思】</p>
	5	<p>■紙芝居に合う音楽をつくる</p> <p>①音楽と紙芝居を合わせ、相互評価する。</p> <p>②最終版を提出する。</p>	<p>○創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な条件に合った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。【知】</p>